

2 警察官の仕事

Q 6 警察官の仕事は危険ですか。

A 警察官は危険な事件を受けることもあり、中には仕事でけがをしたり、命を落とす警察官もいます。



しかし、警察官は自分の身を守るための訓練や、防弾チョッキなど安全のためのいろいろな装備を使い、警察官同士で協力して仕事をしています。

そのため、ほかの仕事と比べて警察官だけ特別危険とはいえません。

Q 7 警察官の階級とは何ですか。全部で何種類あるのですか。

A 会社に社長や課長がいるように、警察内部の地位を示すもので、仕事をスムーズに進めるためにつくられました。階級は警察法という法律で決まっています、警察では警視総監、警視監、警視長、警視正、警視、警部、警部補、巡査部長、巡査の9種類があります。

警視総監は警視庁のトップで警視庁にだけ置かれており、階級を表すとともに職名を表しています。

職名とは、その階級にある警察官が就くことのできる役職の名前のことで、例えば、警察署では、巡査部長は「主任」、警部補は「係長」、警部は「課長」、警視は「署長」などにあたります。

職名と階級を組み合わせて、例えば「刑事第一課長の〇〇警部」というように呼ぶこともあります。

Q 8 警察官はどのようにして昇任していくのですか。

A 基本的に警察官の階級は、巡査からになります。その後、巡査部長、警部補、警部、警視と階級が上がっていくことを「昇任」といいます。昇任試験に合格すると昇任し、勤務年数などの受験資格があれば誰でも受けることができます。

昇任試験に合格するかどうかは、学歴や性別に関係なく、本人の努力次第です。

Q 9 千葉県警察全体で、何人の人が働いているのですか。

A 千葉県警察には、約1万2,000人の警察職員が働いています。そのうち約1万人が警察官です（平成31年4月1日現在）。

県内には39の警察署があり、約7,000人の警察職員が働いています。

Q 10 千葉県警察には、女性警察官がどのくらい働いているのですか。

A 平成31年4月現在、女性警察官は、約1,000人働いています。交番での勤務はもちろん、交通安全教育や交通違反の取締り、犯罪の捜査や鑑識活動、少年の非行防止活動や市民が犯罪にあわないための指導など、男性警察官と同じく、いろいろな分野で活動をしています。



Q 1 1 警察官になるためには、どのようなことが必要ですか。

A 警察官になると「警察学校」に入って、警察官として必要な勉強や訓練を受けますので、今は学校での勉強や運動を一生懸命してください。何よりも大切なことは、社会のために尽くすという気持ちと強い正義感を持つこと、そして警察官になるという夢を持ち続けることです。

Q 1 2 警察官は、犯人を捕まえるためにどのような訓練をしているのですか。

A 警察官は、皆さんの安全を守り、どんな犯人にも負けないように、普段から柔道や剣道の訓練、運動などで体をきたえています。また、相手が凶悪な犯人だったときなど、いざというときのために、拳銃の訓練もしています。

Q 1 3 機動隊は、どのような仕事をしているのですか。

A 機動隊は、事件や事故から人々を守る警察の仕事の中でも、たくさんの警察官が力を合わせないとできないような仕事をしています。
例えば、成田国際空港ではたくさんの機動隊員が、事件が起きないように空港をいつもパトロールして、皆さんが安心して旅行できるように空港の安全を守っています。また、大きなお祭りや初詣など、大勢の人が集まる場所では、見張りをしたり、交通整理を行ったりして、皆さんがけがをしたり迷子にならないように見守っています。
台風や地震など大きな災害が起きたときには、日本全国へ皆さんを助けに行きます。

Q 1 4 なぜ警察官のことを「お巡りさん」というのですか。

A 警察官のことをよく「お巡りさん」といいますが、これは警察官が皆さんの街をパトロール、つまり巡回することから、この巡回の「巡る」という言葉が基になって「お巡りさん」と呼ばれるようになったのです。